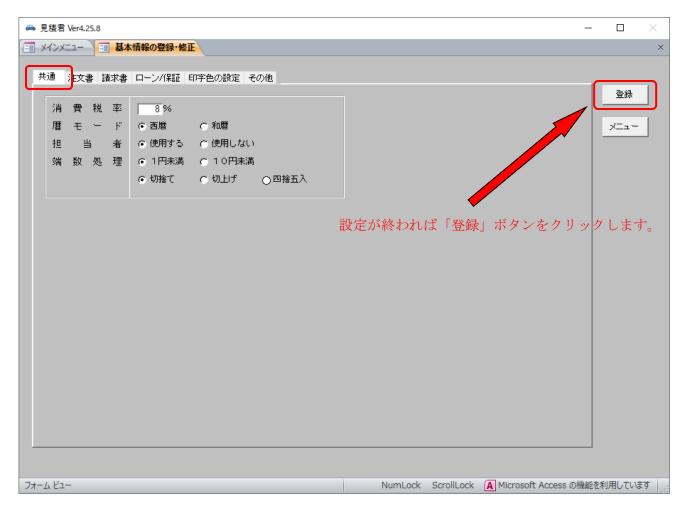
■ 初期設定(共通)

1. 基本情報の登録・修正

メインメニューより「初期設定」→「基本情報の登録・修正」→「共通」タグをクリックします。



◇ 共通項目の設定

消費税率は現バージョン(2018年7月)の初期値は8%に設定しています。

暦モード西暦/和暦かどちらかにチェックを入れます。(初期値:西暦)

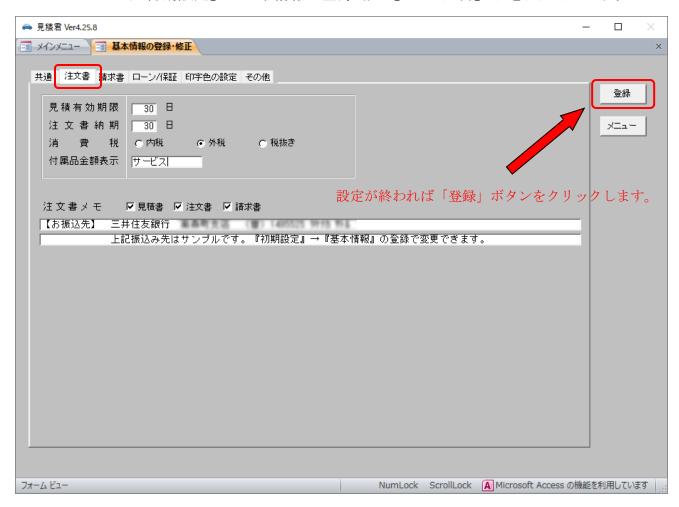
担当者:担当者名を「使用しない」にチェックを入れると担当者名は表示しなくなります。

端数処理は1円未満/10円未満で、切り捨て・切り上げ・四捨五入のいづれかを選択します。

■ 初期設定(注文書)

1. 基本情報の登録・修正

メインメニューより「初期設定」→「基本情報の登録・修正」→「注文書」タグをクリックします。



◇ 見積有効期限/注文書納期の設定

ここで、設定した日数は見積書及び注文書の作成日からの初期値の期限になります。伝票作成画面で再登録できるようになっています。

◇ 消費税の設定

消費税は「内税」「外税」「税抜」のいずれかで選択チェックをいれます。

車販は「内税」で整備請求書は「外税」に設定することも可能です。また、伝票作成画面でも消費 税設定を切り替えることができます。

◇ 付属品金額表示の設定

付属品金額表示は付属品の金額が「O」の時に代替で表示する文字を設定します。

◇ 注文書メモの設定

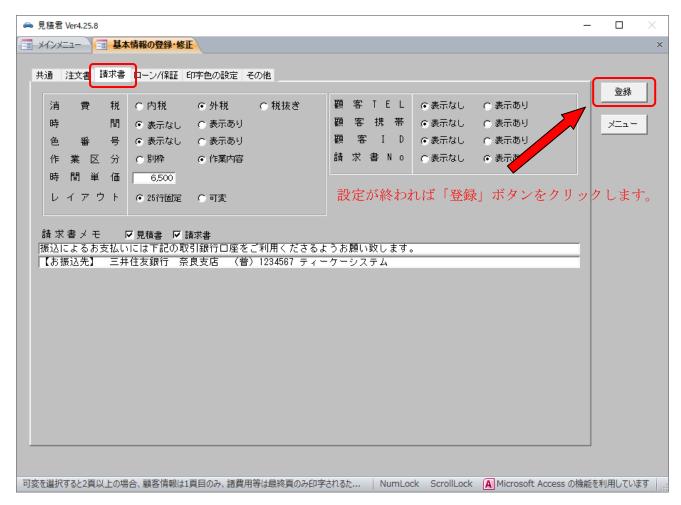
ここで設定した文字が見積書及び注文書の最下行にテキスト文字として印字します。約85文字 × 2行分が設定できます。一般的に振込先銀行口座の設定をしてください。

チェック項目を外すと印字しません。「注文書」及び「請求書」は印字するが「見積書」は印字しないように設定することも可能です。

■ 初期設定(請求書1)

1. 基本情報の登録・修正

メインメニューより「初期設定」→「基本情報の登録・修正」→「請求書」タグをクリックします。



◇ 消費税の設定

消費税は「内税」「外税」「税抜」のいずれかで選択チェックをいれます。

車販は「内税」で整備請求書は「外税」に設定することも可能です。また、伝票作成画面でも消費 税設定を切り替えることができます。

◇ 時間/作業区分

整備請求書印刷で時間表示項目を「印字する」・「印字しない」かを設定できます。

作業内容の「区分」表示も同様で「印字する」・「印字しない」を設定できます。

「印字する」にチェックを入れると、作業内容に入力できる文字数がその枠部分が少なくなります。

				\				
No	作業内容及び使用部品等	区分	時間	数量	単位	里価	部品代	技術科
1	オイル	交換	0.2	4	Ω	800	3,200	1,000
2	オイルエレメント	交換	0.3	- 1	式	1,650	1,650	1,500
3								

上段は「作業区分」と「時間表示」をありの場合

No	作業内容及び使用部品等	数量	単位	里価	部品代	技術料
1	オイル交換	4	Ω	800	3,200	1,000
2	オイルエレメント交換	1	式	1,650	1,650	1,500
3		, I				

■ 初期設定(請求書2)

◇ 時間単価

時間単価を入力することで請求書作成画面の時間単価が初期値として表示します。

請求書作成画面でも時間単価の変更が可能です。

時間単価×時間=技術料が計算します。

◇ レイアウトの切り替え(25行固定/可変)

【固定】

明細行は25行固定になり、2頁目以降も顧客情報欄/自社店舗欄/車両情報欄/諸費用 欄がページ毎に印字します。

【可変】

明細行1ページ目に24行になり、2頁目以降には顧客情報欄/自社店舗欄/車両情報欄 は印字しません。また、最終ページの最下行に諸費用欄が印字します。 明細行が増えれば、レイアウト設定を「可変」にした方が、総印刷頁の枚数が少なくて済みます。

余白設定が「固定」∕「可変」により変わってきますので、必ず余白設定を確認してください。

印刷確認前のプレビュー画面から「余白の設定」 ボタンをクリックし、右図、「余白設定」を開き ます。「下」部分(赤枠)の余白を変更してくだ さい。

固定の場合は13mm

可変の場合は8mm



◇ 請求書メモの設定

ここで設定した文字が見積書及び注文書の最下行にテキスト文字として印字します。約85文字 × 2行分が設定できます。一般的に振込先銀行口座の設定をしてください。

チェック項目を外すと印字しません。「注文書」及び「請求書」は印字するが「見積書」は印字しないように設定することも可能です。

※ メモ欄は振り込み先口座以外に任意な文字を登録設定することができます。

下記の画像は請求書印刷のサンプル(最下部)になります。

